

子どもの性の

17



福岡医療支援センター長
医療法人ふくしま子ども・

水沼
英樹氏

前回はお詫びを 続いて
無月経についてお詫びを
ます。

無月経の中には授乳中
でもないのに乳汁分泌が
ありまり多さ一過性

あり無月経を来す場合が
あります。これは、別名

アフロラクチン血症とも呼ばれる病態で、血中ア

口ラクチン(PRL)測定で簡単に診断可能で

定で簡単に診断可能で
す。PRLは下垂体から

分泌されるホルモンで
通常は視床下部からのド

一ペミンと呼ばれる物質
によってその分泌は抑え

無月経

下

たPRLは視床下部から
のGnRH分泌や卵巣か
らの女性ホルモン分泌を
低下させ、その結果、無
排卵や無月経を発症す
ます。また、ある種の抗
うつ剤、胃潰瘍治療薬な
どドーパミンの分泌を抑

た場合でもPRL値が上昇
くなり、無月経を来す場合
があります。脳膜の場
合には視野障害を来すこ
ともありますので、PRL
の高値を伴う月経異常
ではその原因探索が脳膜
となります。

月経や月經以外にも
多毛、ニキビなどを合併
や、全例ではありません
が糖代謝異常の合併を伴
う場合もあり、後者の場
合、高血圧症や糖尿病な
どの生活習慣病の発症率
スクが高くないとおも
れています。この傾向は

やがて子宮内膜がんへと進展する懸念がありますので、それを予防するためには低用量ピルなどの服用が必要です。もちろん妊娠を希望する場合には積極的に排卵誘発を行うといいでしよう。

な血液検査でも可能ですが、数週間の基礎体温の記録がありますと、さらに診断や治療の方針が立てやすくなりますので、これをつけるてから産婦人科を受診されるなどをお勧めします。

のれいんのうかん
姉妹腫瘍(れいめいしゆろう)
期の乳頭刺激を受けます
と分泌が亢進(くひこん)

主する原因の脳膜や甲状腺機能低下症を合併する場合、それに下垂体にPRL産生腫瘍が発生し、多くは多発性脳膜腫瘍群（PCOS）と呼ばれる排卵障害であります。PCOSの場合、無

肥満を有するPCOSの患者さんで特に頭著です。PCOSの女性は、無排卵期症と言つて排卵を伴わない月経（無排卵期症と呼ばれます）を見る場合も少なくあります。この場合には、子宮内膜が異常増殖を行い、

終目的は妊娠の成立に主点が置かれておりました。しかしながら、無月經の場合は、またまた内分泌代謝異常の原因が存在しており、無月經や月經異常はその一症状として発症しているのです。

ホルモン測定で診断

臨床を目的の治療の最終目的は妊娠の成立に主点が置かれておりました。しかしながら、無月経の背景にはさまざまな内分泌・代謝異常の要因が存在しており、無月経や月経異常はその一症状として発症しているに過ぎないことも明らかにされてきました。妊娠の希望がなくとも、月経異常の放置は好ましくありません。月経異常の診断は特殊な場合を除いて簡単な血液検査でも可能ですが、数週間の基礎体温の記録がありますと、さらにに診断や治療の方針が立てやすくなりますので、これをつけるから産婦人科を受診されることをお勧めします。